

患者さんを家族のように愛する・いい医療をより多くの患者さんへ

奈良県西和医療センター情報誌

ファミリー

～みむる～

復刊
第10号
平成30年
11月



新任医師紹介
お薬のミニ知識
診療科紹介:小児科
病気の話:インフルエンザ
各部門情報:中央放射線部
西和医療センター便り
公開講座案内



地方独立行政法人 奈良県立病院機構

奈良県西和医療センター

Nara Prefectural Seiwa Medical Center

新任医師紹介

平成30年8月1日付け

心臓血管外科専攻医



か にわ よし お
鹿庭 善夫

専門医・専門分野

- ・心臓血管外科全般
- ・日本外科学会会員
- ・日本心臓血管外科学会会員
- ・日本血管外科学会会員

放射線科専攻医



よ ね い ま ち さ
米今 知佐

専門医・専門分野

- ・日本医学放射線学会会員
- ・放射線科全般

平成30年10月1日付け

眼科部長



お か も と ま さ ひ ろ
岡本 全弘

専門医・専門分野

- ・日本眼科学会専門医
- ・白内障
- ・緑内障
- ・黄斑疾患
- ・眼科全般

外科・消化器外科医員



た け い た け し
竹井 健

専門医・専門分野

- ・日本外科学会会員
- ・日本消化器外科学会会員
- ・日本大腸肛門病学会会員
- ・日本消化器内視鏡学会会員
- ・日本消化器病学会会員
- ・消化器外科全般
- ・下部消化管外科
- ・腹腔鏡下手術

平成30年10月15日付け

循環器内科専攻医



ま つ ば や し か ず ま
松林 和磨

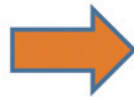
専門医・専門分野

- ・循環器内科・総合内科全般
- ・日本内科学会会員
- ・日本循環器学会会員
- ・日本心臓血管インターベンション治療学会会員



お薬のミニ知識

主なインフルエンザの薬



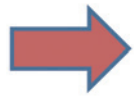
① **タミフルカプセル**
1回1カプセルを1日2回 5日間



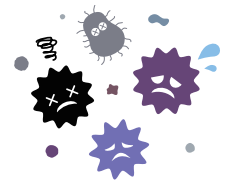
② **リレンザ**
1回2吸入 (2プリストア使用)、1日2回 5日間



③ **イナビル**
(成人、10歳以上の小児) → 2容器を全量吸入
(10歳未満の小児) → 1容器を全量吸入



④ **ラピアクタ点滴静注液**
1回点滴



お薬によって使い方が異なりますので、正しく使用しましょう。

小児科とは

【診療の内容】

一般的には中学生までの、こどもの内科的な疾患の全てを扱います。外科的な治療は行いませんが、虫垂炎（俗にいう「盲腸」）など外科的な治療が必要な疾患を見つけて、外科などの他科へ紹介するのは小児科の仕事です。また、病気を見つけれたり治したりするだけでなく、母親の育児など子供が健やかに成長するために家族へのサポートを行うことも大事な役目です。



【当センター小児科の特色】

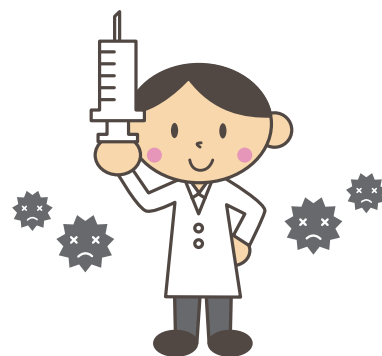
特に食物アレルギーやアトピー性皮膚炎、喘息などのアレルギー疾患に力を入れています。食物アレルギーに対しては食物経口負荷試験も積極的に行っています。また、自閉症スペクトラムや不登校、学習障害などの児童精神疾患やけいれんなどの神経疾患の診療を専門的に行っているのが特徴です。

【外来診療担当表】

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
一診	高塚部長	秋定	田口	高塚部長	西岡
二診	田口	西岡	西野 (予約のみ)	秋定	田口
午後診	予防接種	慢性外来 心エコー 心理カウンセリング	慢性外来	慢性外来 1ヶ月健診	慢性外来 心理カウンセリング

病気の話

インフルエンザ



Q. 風邪とどこが違うの？

A インフルエンザも風邪もウイルスにより発症しますが、インフルエンザは体内に感染した時のウイルスの爆発的な増加スピード、周りへの感染力が強く、予防接種を行うくらい注意が必要となります。また、肺炎や脳症などの合併症で命の危険にさらされることもあります。

Q. インフルエンザワクチンはいつ受ければいいのか？

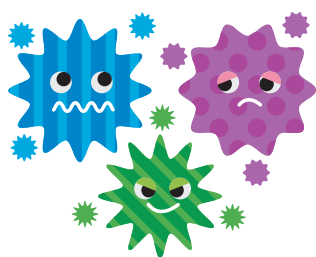
A インフルエンザワクチンは免疫体制が整うまでに2~3週間ほどかかります。また、半年ほどで効果が薄れてしまいます。インフルエンザの流行は早いと11月中旬~下旬からみられるので、10月下旬~11月中旬が予防接種の最適な時期といえるでしょう（生後6ヶ月から接種可能で、13歳未満は2回接種が必要です）。また、妊娠週数を問わず妊娠中の女性は接種が推奨されています。

Q. インフルエンザワクチンはなぜ毎年受けなければいけないの？

A インフルエンザウイルスは頻繁に構造を変えるため、過去のワクチン接種で獲得された免疫では認識できない変異ウイルスを毎年発生させるからです。インフルエンザウイルスは人の免疫機構から巧みに逃れる術を持っているのです。

Q. インフルエンザワクチンを受けたのにどうして感染するの？

A 現在のインフルエンザワクチンは、免疫細胞にウイルスを記憶させておくだけで、その後同じウイルスが侵入してきた時に抗体という対抗物質を作って攻撃体制を整えるメカニ



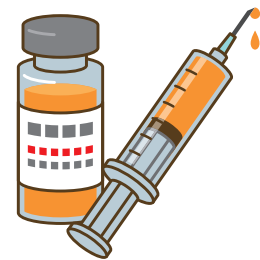
ズムです。ですので、感染してから攻撃体制が整うまでの間に発症してしまうのです。それに対し、現在日本では未承認ですが、海外で使用されている点鼻ワクチンは鼻の粘膜で抗体を作るタイプなので、鼻腔にインフルエンザウイルスがついた時点で攻撃し、身体にウイルスが侵入する前からブロックします。

Q. インフルエンザの検査で痛くないものはないの？

A 細長い綿棒で鼻の奥をこするインフルエンザの迅速検査は痛くてやりたくないという人は少なくありません。検査キットの種類によっては「鼻かみ液」で検査できるものもありますが、検体が十分取れないこともあり、綿棒で行うより陽性が検出しにくいという場合もあるため、やはり綿棒で鼻粘膜を擦る方がいいようです。また、発熱直後の検査では陽性率は低いと思われていますが、最近の検査キットは進歩しており、発熱後数時間以内でも判定可能なものもあります。

Q. 抗インフルエンザ薬にはどのようなものがあるの？

A 高リスク群の患者でなければ必ずしも抗インフルエンザ薬による治療が必要というわけではありませんが、有熱期間の短縮のほか重症化予防効果が示されています。昨年までに飲み薬、吸入、点滴の4剤が発売されています。点滴で投与されると効果が高いと考えている人がいますが、実際はどれも効果は同じです。タミフル[®]は生後2週間以降の新生児も使用可能です。また、母親が抗インフルエンザ薬の投与を受けていても授乳は問題ありません。どの薬もウイルス自体を退治するのではなく、人間の細胞内に感染したウイルスが細胞外に広がるのを防ぎます。2018年に発売された新薬のゾフルーザ[®]は細胞内でのウイルスの増殖を抑制するため、内服回数は1回のみとなっています。



Q. 熱が下がっても学校や仕事に行けないの？

A インフルエンザウイルスの排出期間は、発熱の1日前から症状が出てから5~7日までと考えられています。特に発熱してから5日間は他の人に移りやすく、解熱してから2日後くらいには体内からほぼ消失しています。

学校保健安全法では

- ・学校:発熱後5日を経過し、かつ解熱後2日を経過してから
- ・幼稚園や保育園:発熱後5日を経過し、かつ解熱後3日を経過してから

登園・登校するように義務付けています。職場の場合は法律で休む期間が規定されていませんが、一般的には発熱したあとの5日間は絶対で、熱が続く場合は解熱してから2日経過するまでは出勤自粛が原則になります。



中央放射線部

核医学検査装置が新しくなりました

核医学検査とは、微量の放射線を出す薬を注射し、体内から出る放射線を検出して画像にする検査です。

シンチグラフィ、アイソトープ、RIなどと呼ばれます。

さまざまな臓器の形態や機能を調べたり、体内の腫瘍を探したりすることができます。

2018年3月にSiemens社のSymbiaを導入しました。

検出器の感度がよくなったことで検査時間が短くなり、心筋シンチグラフィでは薬剤変更により、食事を制限する必要がなくなりました。

また、装置の導入に伴って検査室の改装も行いました。明るく清潔感のあるお部屋で検査を受けていただけます。



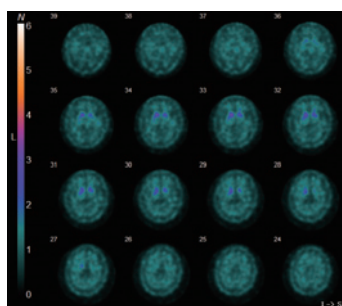
当院で行っている検査（一部）

骨シンチグラフィ



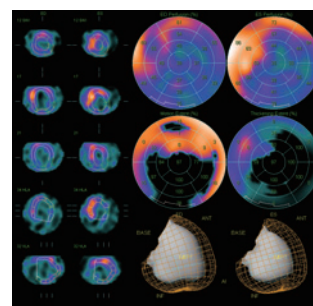
骨に病変があった場合、その場所へ医薬品が集まります。全身検索により転移巣の見落としが少ないとされます。

ダットシンチグラフィ



脳の線条体という部分にある神経の変性を調べます。パーキンソン病やレビー小体型認知症の診断が可能です。

心筋シンチグラフィ



心筋の虚血領域の検出や心筋梗塞後の評価が可能です。必要に応じて運動による負荷をかけてから検査することもあります。



ご不明な点がございましたら、遠慮なく放射線科スタッフにお尋ねください。

防ごう!! RSウイルス・インフルエンザウイルス!

RSウイルスはインフルエンザより早い時期に流行します。
大人であれば風邪の症状ですみませんが、新生児や乳幼児期にかかると重症化することがあります。
インフルエンザは冬に流行ります。乳幼児から高齢者まで年齢を問わず多くの人が感染します。
RSウイルスやインフルエンザウイルスは咳や飛び散った唾液などから感染します。



かからないためには

- 手洗いやうがいを
行いましょう。



- 流行時には人が多い場所は
避けましょう。
- 外出時にはマスクをしましょう。
- 家族や身近な人に
症状があれば、
早めにマスクをしましょう。
- マスクは正しく使いましょう。しっかり
おおって汚れたら交換しましょう。



- 栄養を充分にとり
体力・抵抗力を
高めましょう。



うつさないためには

- 咳や熱がある時は
マスクをしましょう。



- 小さいお子さんには
接しないようにしましょう。
- お世話をしないといけない時は
接する前に必ず、
手洗いをしましょう。
- 咳が出る時は
ティッシュなどでおおきましょう。
- 発症しているお子さんの
おもちゃなどは専用に使しましょう。



インフルエンザを予防するために、早めに予防接種を受けましょう。

●公開講座案内●

地域の方対象 公開講座

地域住民公開講座

平成31年2月7日(木)

14:00~15:30

会場:香芝市総合福祉センター多目的室
(香芝市逢坂一丁目374番地1)

「心臓血管外科専門医がわかりやすく解説
する心臓病と足の血管病のはなし」

西和医療センター 心臓血管外科部長
田村大和

「高血圧ってどうして治療
が必要なのですか?とい
う疑問に答える血圧の
はなし」

西和医療センター 副院長 土肥直文



医療職の方 対象の講座

地域医療連携講座(当院にて)

11月15日(木)

泌尿器科部長 大山 信雄

夜間頻尿

12月20日(木)

小児科部長 高塚 英雄

小児気管支喘息の治療と管理

(ガイドライン2017の改定を含め)

放射線科医長 前田 新作

リンパ系IVRの最近の進歩

—乳び胸腹水治療を中心に—

平成31年1月17日(木)

眼科部長 岡本 全弘

色覚異常について

耳鼻咽喉科部長 金田 宏和

めまいと難聴



*変更の可能性もあります。詳細はお問い合わせ下さい。

<当院へのアクセス>



地域医療支援病院として、地域と力を合わせて、これまで以上に地域包括ケア・在宅医療の推進にも力をいれて取り組んでいきたいと思っています。

「ファミリー」は年に4回の発刊を予定しています。地域の皆様の健康に役立ち、親しまれ愛される紙面作りをめざしていきます。

住民の皆様役に立つ情報・当院との連携についてなど、地域の登録医の先生方の投稿をお待ちしています。詳細は地域医療連携室へお問い合わせください。

発行・編集

奈良県西和医療センター情報誌

発行日 平成30年11月1日

編集者 地方独立行政法人奈良県立病院機構

奈良県西和医療センター 患者支援センター

〒636-0802 生駒郡三郷町三室1-14-16

TEL:0745-32-0505(代表) FAX:0745-31-1354

